

雲の上の英語塾 英文法の整理と演習	学習項目	種別	学年	学習日
	不定詞の3用法		整理	2年
CAN-DO	不定詞(to + 動詞の原形)を使って「～するために」、「～するための」、「すること」と表現できる			

①不定詞の形

to + **動詞の原形**

②不定詞には3つの用法があり、それぞれに違う意味があります

用法の名称	意味 (訳し方)	確認事項
【名詞用法】	～すること	<ul style="list-style-type: none"> ■名詞の働きをする (名詞のかたまりを作る) ■「to+動詞の原形」の部分は主語や時間により変化しない ■熟語的に覚えておく と 便利 <ul style="list-style-type: none"> ○want to + 動詞の原形 (～したい) ○like to + 動詞の原形 (～することが好き) ○try to + 動詞の原形 (～しようとする) ○start to + 動詞の原形 (～し始める)
I want to visit Canada . (私は カナダを訪れること が欲しい。→私はカナダを訪れたい。)		

例文① I like **to cook**. (私は、**料理すること**が好きです。)

例文② **To visit Canada** is my dream. (**カナダを訪れること**が私の夢です。)

用法の名称	意味 (訳し方)	確認事項
【副詞用法】	～するために	<ul style="list-style-type: none"> ■副詞の働きをする (動作の目的を表す) ■「to+動詞の原形」の部分は主語や時間により変化しない
I went to the park to play tennis . (私は テニスをするために 公園へ行きました。)		

例文③ She went to Canada **to study** English. (彼女は英語を**勉強するため**にカナダへ行った。)

例文④ Why did you come to Japan? / **To study** Japanese. (なぜ来日したのか。 / 日本語を**学ぶため**。)

用法の名称	意味 (訳し方)	確認事項
【形容詞用法】	～すべき ～するための	<ul style="list-style-type: none"> ■形容詞の働きをする (名詞を後から修飾する) ■「to+動詞の原形」の部分は主語や時間により変化しない
I want something to eat . (私は 食べるための 何か欲しい。→私は何か食べ物が欲しい。)		

例文⑤ I have some pictures **to show** you. (あなたに**見せる [ための]**写真が何枚かあります。)

例文⑥ We have many places **to see** in Kyoto. (京都には**見るべき**ところがたくさんある。)